

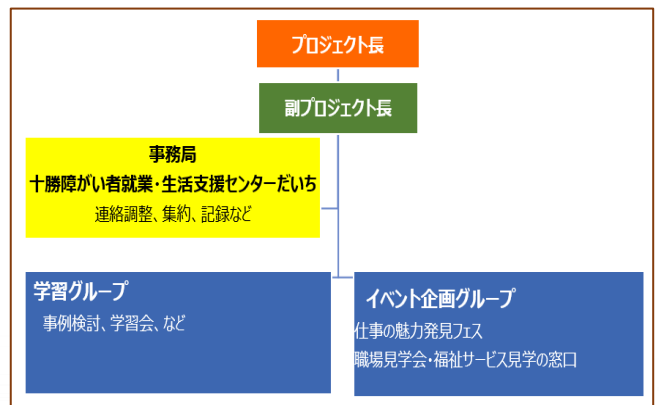


# 令和2年度 「雇用促進・就労 定着プロジェクト」 総会の報告

去る7月16日、障がい者雇用に積極的に取り組まれている企業を中心に集まり、昨年度発足した「雇用促進・就労定着プロジェクト」が、今年度の総会を実施しました。

当日は新型コロナウイルスの新しい生活様式の対策等でご多忙の中、8社9名の方々にご参加いただき、各企業の状況の共有と、今年度の組織体制や活動方針について検討を行いました。活動制限のため参加が難しかったプロジェクトメンバーの方々には事前にアンケートを行い、意見を集約しての会議となりました。

会議では、新型コロナウイルスの話題にも触れ、テレワークの推進やリモート会議の導入など、それぞれの企業が、今の状況に合わせて柔軟に対応している様子が伺えました。また、計画休業やそれに伴う給料補償や感染症対策等の工夫をされている状況がわかりました。



今年度の活動内容の意見交換では、プロジェクト企業の抱える課題が上げられました。その内容としては、①採用前から定着までの考え方や視点の持ち方、②社内での障がい者理解の促進、③次期採用担当者や現場対応者の人材育成などが上げられました。その為、プロジェクトメンバー自身の障がい者雇用に関する理解や知識を深め、力をつけていくことが必要だと結論に至りました。今後の方向性としては、2か月に1回の学習会を実施していく予定です。

もう一つ意見が上がったのは、皆さんからの反響が大きかった「仕事の魅力発見フェス」の開催です。実際に仕事の体験が出来るイベントは参加者・プロジェクト企業ともに成果が大きかったことから、現在の生活様式を考えての方法を模索していくことになりました。

昨年度はイベント的な要素や研修会での発表など、外部に発信する取り組みが多かった一年となりました。今年度は16社19名でスタートを切ります。障がい者雇用について深く掘り下げ、知識を深めていく1年になりそうです。この活動に賛同いただき、ともに地域の障がい者雇用について活動を行うメンバーを広げていく考えです。

